

横暖ルーフ

工法

重ね葺き

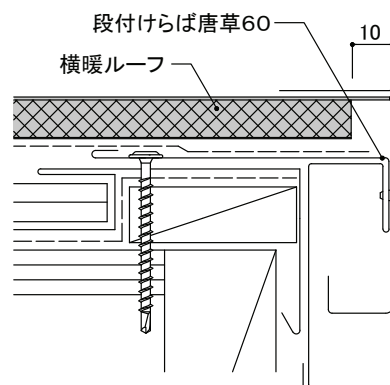
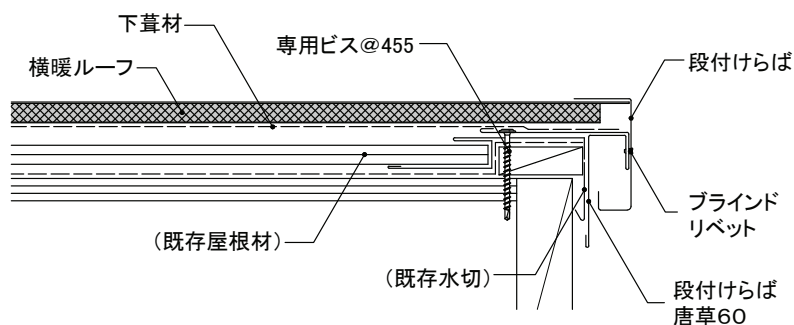
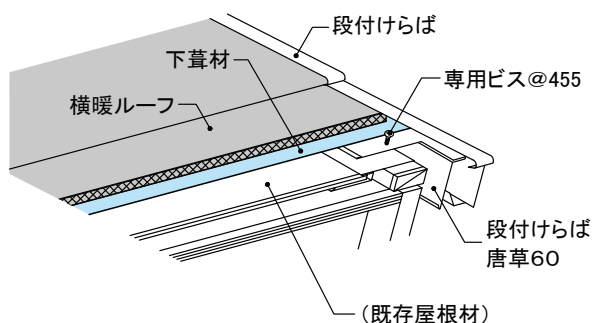
既存屋根材

セメント系新生瓦
アスファルトシングル

4) けらば部

③ 段付けらば唐草60 + 段付けらば

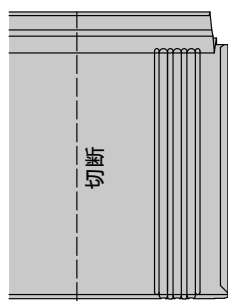
- 段付けらば唐草60は専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で留め付けます。
- 下葺材を張り、横暖ルーフは専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で施工します。
- 段付けらばは、けらば小口にかぶせるように取り付けます。その際、軒先から「段付けらば軒先」を施工し、以降「段付けらば」を使用して施工します。
- 「段付けらば軒先」および「段付けらば」は側面の穴からブラインドリベットで留め付けます。



■ 施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体のけらば部分は、図のように加工します。

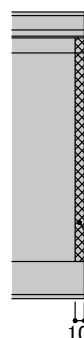
- ① 段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



段付けらば唐草端部



- ② 端部から10mmの位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。



芯材ウレタンと裏面紙を剥がす

- 段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。軒先は必ず小口付の「段付けらば軒先」を使用します。

※「段付けらば」「段付けらば軒先」は形状が左右で逆になります。必ずご確認の上、施工してください。

